

平成22年度
中学生のための景観教室
実施報告書



実施校 宮崎市立清武中学校
宮崎市立加納中学校
主催 宮崎市都市整備部景観課
協力 (社)宮崎県建築士会

はじめに

宮崎市では、まちづくりに関する重点政策として「景観都市づくり」をかかげており、平成 19 年に宮崎市景観計画を策定するなど、様々な施策を実施しております。

「景観」とは、海、山、川などの自然環境や建築物、道路など目に映るまちの姿だけではなく、まちの雰囲気や文化的・歴史的なかおりなど、私たちがそこから感じ取る印象までも含めた幅広いものです。つまり、私たちが生活している空間や環境そのものであり、その都市の個性や文化水準を表すものといえます。

今回の景観教室の舞台となる宮崎市清武町は、農林業の町として発展し、近年は大学や企業の誘致により、著しく人口が増加し団地開発も進み大きな発展を遂げている文教田園都市であり、様々な景観資源が数多くあります。それらを生かしながら、文化の香り豊かな快適な生活が営めるように、住民の皆さんが共有できる良好な景観を有する「まち」をつくる必要があります。

美しい景観は自然に生まれるものではなく、市民、事業者、そして行政の日頃からの意識と努力の積み重ねによって作りあげられていくものであり、市民一人ひとりの「景観」に対する関心や意識の向上、そして郷土への愛着の醸成を図ることが必要です。中でも、将来の景観づくりの担い手である中学生の皆さんの景観教育は大変重要なものとなります。

この「景観教室」は、景観に関する学習を授業の中に取り入れた試みとして、平成 14 年度から各学校の先生方と協力しながら実施しているものです。また、本年度は、昨年度に引き続き、平成 20 年に「宮崎市景観整備機構」に指定した「(社)宮崎県建築士会」の全面協力のもと実施しました。

目次

第1部 景観教室の概要	・・・P 5
第2部 景観教室 宮崎市立清武中学校編	
第1章 オリエンテーション (STAGE 1)	・・・P 8
第2章 景観を知る (STAGE 2)	・・・P 9
第3章 景観を調べる (STAGE 3)	・・・P 19
第4章 景観を提案する (STAGE 4)	・・・P 25
第5章 景観教室をふりかえって	・・・P 34
～ 景観教室のあゆみ ～	・・・P 40
第3部 景観教室 宮崎市立加納中学校編	
第1章 オリエンテーション (STAGE 1)	・・・P 42
第2章 景観を知る (STAGE 2)	・・・P 43
第3章 景観に気づく (STAGE 3)	・・・P 46
第4章 景観を考える (STAGE 4)	・・・P 47
第5章 景観教室をふりかえって	・・・P 56
景観教室を終えて 建築士会からの感想	・・・P 63
あとがき	・・・P 64

第1部 景観教室の概要

1 実施目的

「景観」は、市民一人ひとりの様々な生活意識や価値観に基づく活動の結果としてつくり出されるものであり、良好な景観の形成を推進するにあたっては、市民や事業者の景観に対する意識を深めることが重要です。

宮崎市では、このような市民の意識を醸成するため、道路や川などに地域の方々と協力して花を植えたり、また、景観のセミナーなどの各種イベントを開催するなど、様々なかたちで情報提供や啓発活動に努めています。

景観教室は、「景観」をテーマにした授業を学校教育の中に取り込むことにより、将来の景観形成の担い手である中学生の景観に対する興味や関心を喚起し、活動を通じて知識の習得を行うとともに、景観を通して自分たちの地域を知り、郷土愛の醸成を図ることを目的としています。

2 実施校

宮崎市立清武中学校（高山富雄校長）

宮崎市立加納中学校（古川徹校長）

3 実施期間

清武中学校：平成22年6月～平成22年10月

加納中学校：平成22年7月～平成22年12月

4 協力団体

(社)宮崎県建築士会（宮崎市景観整備機構）

授業計画から実施まで、(社)宮崎県建築士会宮崎支部の景観まちづくりメンバー「KOALA（コアラ：Keikan Organization for Arranging Landscape and Architecture）・宮崎」の皆さんの全面協力のもと実施しました。

5 実施科目

清武中学校：2年社会科選択（担当 齋藤秀一教諭） 生徒29名

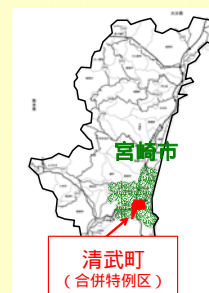
加納中学校：1年社会科（担当 吉住京太郎教諭） 生徒34名

Check 清武町の概要

平成22年3月、旧清武町は宮崎市と合併しました。現在は「清武町合併特例区」として位置づけられ、文教田園都市として発展しています。

・人口：28,930人（平成22年1月現在）

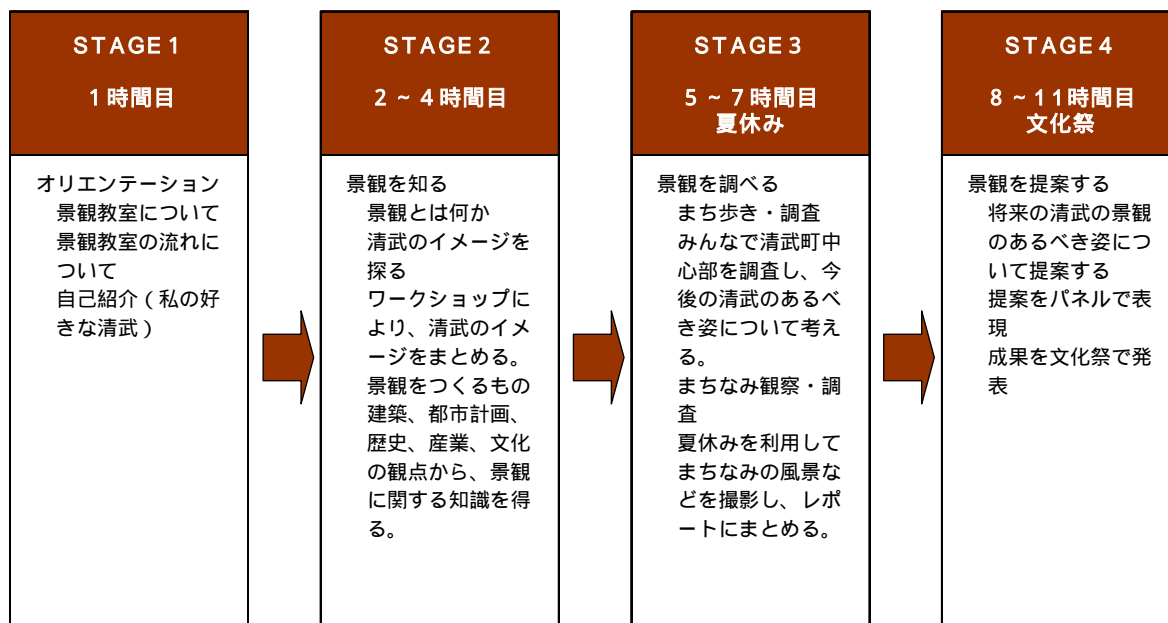
・面積：47.81km²



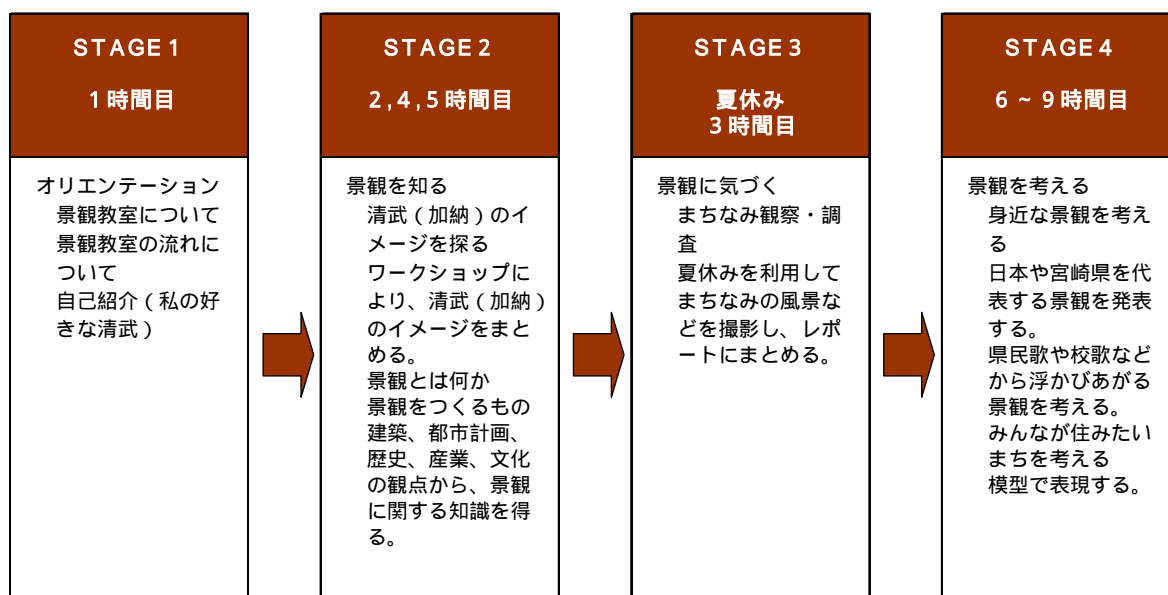
6 実施概要

時間別実施状況

清武中学校編



加納中学校編



第2部 景観教室

宮崎市立清武中学校編

第1章 オリエンテーション (STAGE 1)

1時間目

オリエンテーション

齋藤先生から授業内容の説明
建築士会松竹さんより、あいさつ
景観課より、景観教室について説明

- ・景観教室について
- ・景観教室の流れについて

自己紹介

- ・生徒と講師の皆さんが、それぞれ自己紹介を行いました。
- ・自己紹介と清武の好きなところなどについて地図を使って発表しました。

みんなで、清武の景観について考えていきましょう！



清武といえば、やっぱりあれだよな・・・



建築士会の皆さんの紹介

左から松竹昭彦さん、日高達郎さん、福添勝郎さん、越山明典さん、川添英司さん、海老原邦子さん

なるほど！そこはいいよね。



清武の地図が、好きなところでいっぱいになりました

生徒のみなさんが好きだと思ふ「清武」

- ・清武川、水無川
- ・きれいな空気
- ・船引神社の大クス
- ・安井息軒
- ・工場
- ・日向夏
- ・緑や自然が多いところ
- ・坂が多い
- etc...

第2章 景観を知る (STAGE 2)

2時間目

景観とは何か？

景観づくりの基本となる法律や条例、宮崎市の取り組みなどについて、景観課より説明を行いました。

「景観」とは？

海、山、川などの自然や、建物、道路など、私たちが目にするまちの姿
まちの雰囲気や文化的・歴史的ななかりなどの印象



Check 私たちが生活している空間や環境そのものであり、その都市の個性や文化水準を表すもの。

景観を構成するもの

道路や建物をはじめ、街路樹、橋、
広告物、公園、背景となる山並みなど、
わたしたちがまちを眺める時に目に入る
様々なものが景観をつくっています。

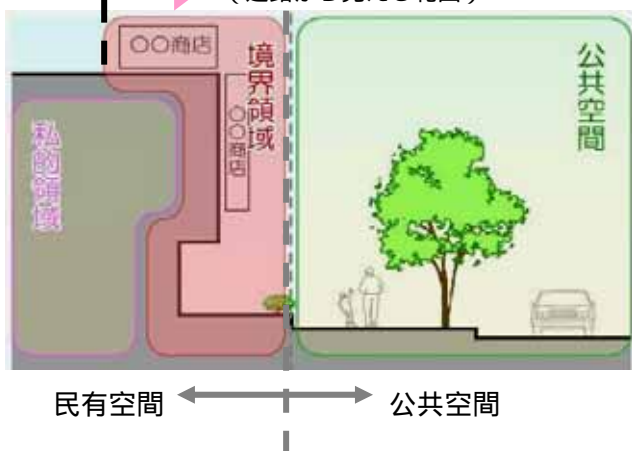


景観はどこまでが範囲なのか？

景観形成の観点から、都市の空間を
考えてみたとき、重要なポイントとして次の3つの空間構成があります。

Check 景観を構成しているもの

景観上は公的空間（みんなの空間）
（道路から見える範囲）



公共空間

道路や公園などの公共の空間
= 公的財産

私有空間（私的領域 + 境界領域）

個人や会社など、民間が所有する
土地建物など
= 私的財産

境界領域

私有空間に属するが、公共の空間
に面していることから、半公共的な
空間として位置づけられます。

Check 景観形成からの都市空間の概念図

なぜ、景観を考えることが重要になってきたのか？

これまでは・・・

経済性、機能性が最優先

- ・ 技術的な面にしか配慮されなかったこと。
- ・ きまりの範囲内であれば、建築が自由であったこと。
- ・ 歴史的価値を考えずに開発が進行したこと。

など、経済成長を重視したことで、自然破壊や歴史的なまちなみの消滅など様々な問題が現れました。



広告物や電線があふれる景観



経済発展により壊されつつある景観

法制度の未整備

建築物などについて、景観の観点から規制・誘導を行う明確なルール（法律）が存在しませんでした。

Check まちづくりに関する法律（景観についてはあまり考慮されていない）

- ・ 建築基準法：建物の敷地や構造などに関する最低限の基準を定め、国民の生命や財産を保護する法律
- ・ 都市計画法：土地の使い方、道路や鉄道の整備方法を定め、都市の健全な発展と秩序ある整備を目的とした法律

デザイン基準づくりの遅れ

「質」で判断されるデザインの明確な基準づくりが難しく、市民や事業者、行政になじみにくかった（美の基準づくり）。



Check ゆとりある、豊かな生活環境の追求

全国一律の法制度のもと、どこに行っても同じようなまちなみが出現するなかで、歴史的なまち並みや自然環境に対する関心が高まり、身近な生活環境をより豊かなものにすることが求められるようになってきました。

景観法の制定（平成16年6月）

社会情勢の変化から景観に対する意識が全国的に高まる中、これまでのまちづくりの考え方を反省し、「美しい景観は国民共有の財産」という理念のもと、各地の景観の取り組みを支援するために、景観に関する総合的な法律を制定しました。

- ・ 景観づくりのための計画（景観計画の策定）
- ・ 景観計画に、景観のルールを位置づける（罰則あり）

景観行政の流れ

歴史的景観の保存から

歴史を無視して進められるまちづくりに対する批判が、歴史的まちなみ保存を求める動きに発展し、制度づくり(条例など)へと展開します(京都、金沢など)。



都市景観(デザイン)づくりへ

歴史的景観の保存・保全から出発した取り組みが都市全体の景観づくりを視点とした活動へとつながっていきます(横浜市・神戸市)。

先駆的な都市景観形成の例(横浜市 1965年頃~)

「まちのデザインを継続的にコントロールする」というイメージのもと、都市空間の質的向上をめざして様々なプロジェクトを展開しています。

- ・馬車道、イセザキモール、元町などの商店街の再生
- ・デザインガイドラインの策定(日本大通り地区、みなとみらい21地区など)
- ・歴史的建造物の保存など



元町商店街



みなとみらい21地区



歴史的建造物の保存

宮崎市の景観行政

本市では、平成2年に「宮崎市都市景観条例」を制定し、様々な景観施策に取り組んできました。その後、平成16年に景観法が制定されたことに伴い、景観法に基づく「宮崎市景観計画」を平成19年10月に策定。平成20年1月には、「宮崎市景観条例」を改正し、具体的な景観施策に取り組んでいます。

景観計画の区域

「宮崎市景観計画」では、宮崎市域全体を対象区域とし、その中でも、景観上特に重要な4つの地区を「重点景観形成地区」として指定しています。



高千穂通り地区



日南海岸地区



一ツ葉リゾート地区



大淀川地区

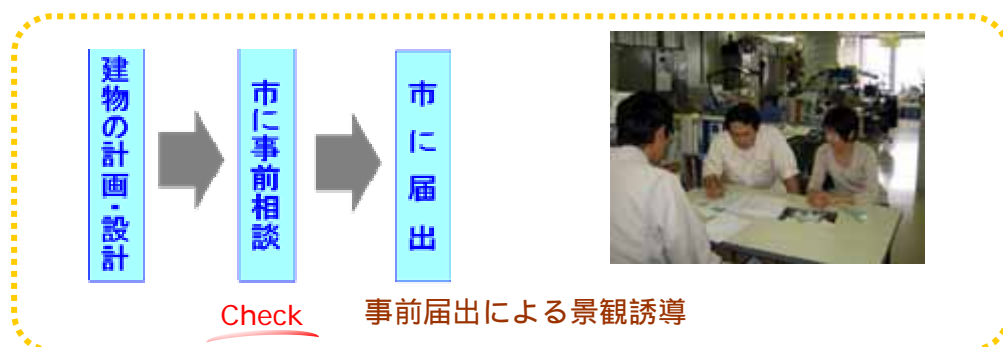
景観形成の方針・ルール

「宮崎市景観計画」において、“豊かなひろがりのある、花のにあうまち・みやざき”を景観形成のための基本理念とし、この実現に向けた目標や方針を示しています。また、建物の色彩基準などの基準（ルール）を定め、調和のとれた景観形成を推進しています。



建物などの事前届出制度

良好な景観形成を図るため、建物の新築や広告物の設置などを行う場合には、景観法や景観条例に基づき、市へ事前に届出を行う必要があります。事前に届け出ってもらうことで、景観上どのように配慮したか、景観のルールに適合しているか、その内容についてあらかじめ確認し、必要であれば、アドバイスを行います。



市民意識の啓発

事前届出制度は、民間（個人または事業者）を対象としていますが、建物のデザインや色彩をコントロールするにしても、建築の自由、表現の自由など問題があり、行政による景観誘導にも限界があります。そこで、市民が自主的に「景観をよくしていこう！」という意識をもっていただくため、市民の意識を高めること（景観啓発）が重要になっています。

- ・景観重要建造物および景観重要樹木の指定（写真上）
- ・専門家による講演会等の開催
- ・違反広告物の市内一斉除却
- ・景観教室（平成14年度～）
- ・花のまちづくりコンクール（平成7年度～）
- ・市民による花の植栽ボランティア（写真下）
- ・シンガポール市民景観海外派遣研修（平成17年度～21年度）



3 時間目

清武のイメージを探る

清武について、「マインドマップ」という方法で連想し、何でも自由に書きました。各班 40～111 個のキーワードを出してもらいました。最後に、連想した言葉の中から、「これぞ清武！」という言葉、班ごとに 1、2 個選びました。

各班が選んだ言葉

- ・ 1 班「安井息軒」
- ・ 2 班「郷土の祭り」
- ・ 3 班「安井息軒」
- ・ 4 班「安井息軒」「アタックス」
- ・ 5 班「自然」



清武について思いつくことを、どんどん書いてね！



清武って色々あるんだなあ。みんな想像力豊かだな～



清武といえば、大クス 自然 山中野・・・



たくさん発想できたね～
すごいな～

Check マインドマップ（連想図）とは？

一つのテーマについて、記憶を引き出し、新たに発想するための方法です。

1. 連想の出発点としてテーマを決め、それをイメージ、絵などで表現します。
2. 連想の方向性となるキーワードを出し、それから連想することを次々とつなげます。
3. 最後に、連想した言葉の中から、テーマにふさわしい言葉を 1、2 個選びます。

4 時間目

景観をつくるもの

景観をつくるものについて、歴史・産業・建築・都市計画 などの様々な観点から、授業を行いました。

歴史と景観について、建築士会の福添さんより授業していただきました。



Check 福添さんの話 ~ 歴史的景観とは ~

歴史的景観とは長い年月にわたる人々の営みが重なり合い形成され、各時代に継承され存続しています。

歴史的景観は私たちの身近な所にあり、通り・古い建物・緑・山並み・里山などが互いに関わり合っています。これらは、まちや人、歴史や文化を語る上において不可欠なものであり、まちの新しい魅力を生み出す要素として地域の活性化に生かすこともできます。

しかし、日々変化するまちにおいて、これらの歴史的景観が気づかぬうちに失われ、次第にまちの雰囲気を感じられなくなる現状もあります。歴史的景観は一度失われたり損なわれると復旧するのが困難であり、まちの特徴を残す大切な歴史・由緒が無くなることにつながります。これはとても残念なことです。

今、大切なことは、歴史的景観を継承・保存し、自然に形成された調和を崩さず次の世代に伝えていくことです。まちは守り育てていくものと言えます。



日向国内の駅・駅路推定図 『宮崎県史』
通史編古代2により、一部改変。

日向十六駅

律令時代（約 1300 年前、奈良時代あたり）に、国内の主要な土地を結ぶ宿場として、各所に「駅」が設けられました。

清武周辺では、現在の宮崎市熊野に「救麻」駅、田野町に「救式」駅として、1300 年前から位置づけられていました。

南北朝～戦国～江戸時代の清武

当時、日向の国（宮崎県）は、飫肥藩、延岡藩、高鍋藩など、様々な藩や領がありました。

清武は、1578 年以降、豊臣秀吉の九州仕置によって伊東氏の藩領となりました。清武には、町の中心から北北西方向の丘に築城された清武城がありました。築城年代は不明ですが、1485 年に伊東氏の飫肥城攻略の際に、伊東祐堯がここで陣を構えたことで知られています。



日向諸藩の領域

清武の歴史的な景観資源



< 船引神社の大クス >

船引神社境内にあるクスは、八幡クスと呼ばれています。高さは 35m、根回りは約 18mの大きさと、クスノキでは県内最大で、昭和 26 年に国の天然記念物に指定されています。

< 安井息軒旧宅 >

江戸時代末の儒学者安井息軒の旧宅で、昭和 54 年に国の史跡に指定されています。現在は半九公園として整備されています。かやぶき・瓦ぶきの方形の家屋で、まわりには息軒手植えの梅が植えられています。



また、旧宅の沿道には、清武石を用いた石垣が残っており、歴史を感じる景観となっています。



< 黒北発電所 >

明治 40 年に建設された県内初の水力発電所です。建設から 100 年以上たった現在でも立派に活躍しています。

建物は石造りで建設当時の面影が色濃く残っており、アーチ型や縦長の窓が特徴的です。

国の登録有形文化財に指定されています。



番外編 ~ 油津（日南市）の歴史を活用した景観 ~

日南市の油津は、江戸時代以降、餞肥杉の積出港として栄えました。また、昭和初期からマグロ漁の基地としても栄えました。現在、それらの時代の歴史資源が見直され、歴史を活かしたまちづくりが行われています。



堀川運河



杉村本店



赤レンガ館



夢見橋

次に、建築と景観について、建築士会の川添さんより授業していただきました。



Check 川添さんの話 ~この授業のねらい~

日本各地の様々な景観が地域の風土によって異なることを知ってもらうことが授業のねらいです。

現在の日本はどこに行っても似たような風景が多くなっていて地域の個性がなくなっているという問題が起きています。

また、各地の個性的な建築物を見てもらうことで、「個人の自由」と「集団での調和」のバランスの大切さを考えてもらいたいと思いました。

各地の特性を表している建築物の紹介や建築物で裁判となった国立市マンション訴訟について紹介していただきました。



また、生徒の皆さんに、日本各地の街なみの写真を見てもらい（写真左）、全国一律の広告が建ち並び全国どこにでもある街なみとなっている問題について考えてもらいました。

最後に、世界の景観について、建築士会の越山さんより授業していただきました。



Check 越山さんの話 ~この授業のねらい~

世界の美しい景観を見てもらい、純粋に「きれいだな」「なんかいいな」と感受性に訴えたいと思い、何か感じてもらえればという授業です。

歴史の流れとともに変化する建築物の意味
長い間、時の流れに取り残された景観
景観と都市計画
などの専門的なことも織り交ぜましたが

今後、まち・建物・自然を見るときに、頭の片隅にでも残っていれば、景観について考える良いきっかけとなることを目指しました。

紹介していただいた主な世界の景観事例

Paris (パリ; フランス) ~時代により変わる景観の捉え方~
1889年、万博のために出来たこの施設(エッフェル塔)は、出来た当初は、石造りのパリのまちなみに突然現れた鉄の塊でした。また、高さが300mを越すものなので、パリのどこからでも見えるものでした。



「パリの景観に合わない」として、パリの人たちからは受け入れられず、万博終了後に壊されようとしていた時、世界情勢が怪しくなり、軍事用の電波を送信するための施設として残るようになりました。しかし、今では、世界有数の観光地となり、パリの景観を構成する最も重要な施設となりました。

Toledo (トレド; スペイン) ~ 時代の流れの中で変わることのない景観 ~

ベージュの土壁に、素焼きの瓦がのった建物が続いています。1600年ごろに活躍した画家、エル・グレコが、このまちを多く描き残していますが、その絵は現在の状況とほとんど変化は見られません。



1600年(絵)と現在のトレドの状況

交通機関も発達していない頃に完成されたこのまちは、地元でとれた材料のみで建物がつくられています。その結果、統一された景観になっています。

Venezia (ベネチア; イタリア) ~ 独特な景観 ~

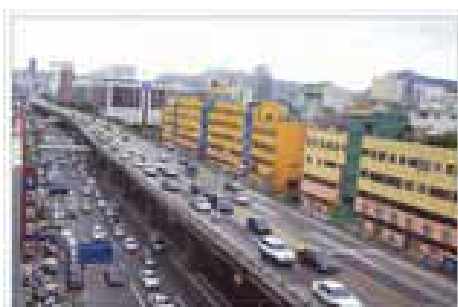
このまちは、150の運河、177の島、400の橋から出来ており、車は一切走っておらず、交通手段は船のみで、独特の景観をつくっています。その運河沿いには、数多くの貿易や金融で財を成した人々の邸宅が建ち並んでいます。ある一時代に栄えたまちの魅力が、そのまま現存している場所です。



韓国の清溪川(チョンゲチョン)の都市河川の復元工事について

ソウル特別市内を流れるこの川は、韓国の経済成長に伴う水質悪化の問題などから暗渠化し、1971年にこの上に高架道路をつくりました。

その後、イ・ミョンバク大統領がソウル市長であった2003年から、市民の清溪川復元の世論が高まったことを受け、高架道路の撤去と河川の復元工事を行いました。水質浄化対策や親水施設の整備を行った結果、現在では市民の憩いの場となっています。



復元前



復元後

(出典: Wikipedia)

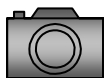
第3章 景観を調べる (STAGE 3)

5 時間目

まち歩き・調査

清武の市街地周辺を中心に、5コースに分かれてまち歩きを行いました。生徒の皆さんに、清武のまちなみを形成しているだろうと思われる要素や、「いいなあ」と思う景観、「これはちょっとどうかな」と思う景観を、カメラに収めてもらいました。

Check



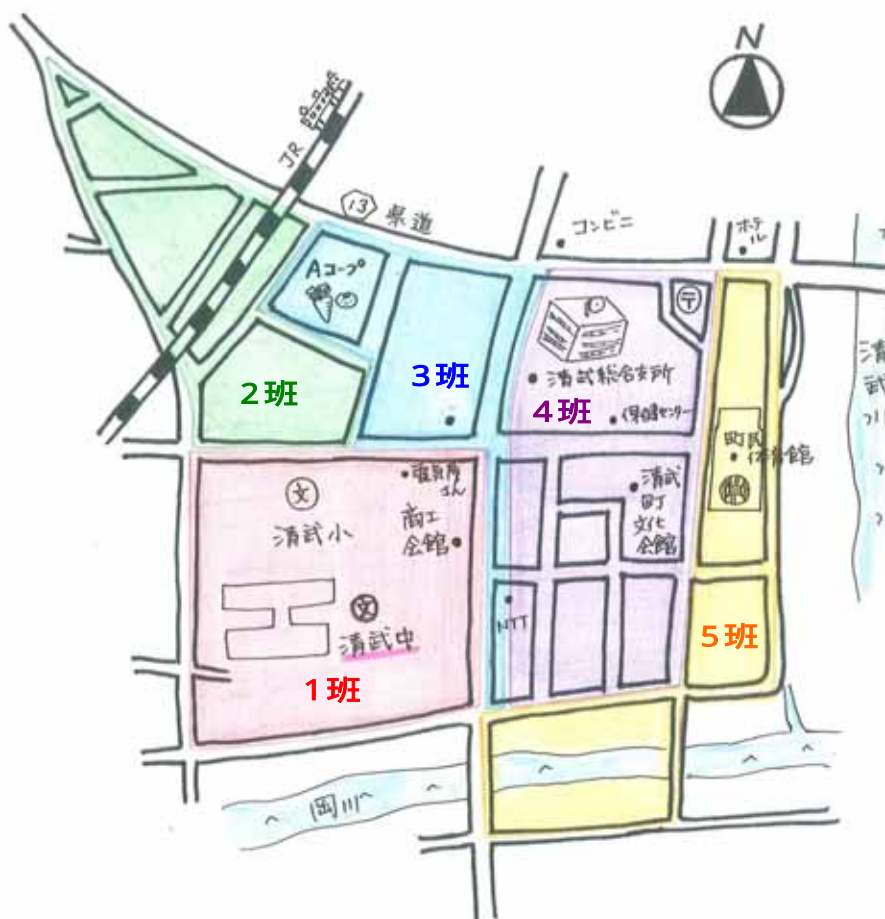
デジカメを各班1台ずつ渡しました



日高さんより事前説明

まち歩きのエリア

- 1班・・・学校周辺ゾーン（身近な自分達の学校周りの景観について考える）
- 2班・・・住宅地ゾーン（様々な建物が存在する住宅地の景観について考える）
- 3班・・・商業地ゾーン（商業地と道路沿いの景観について考える）
- 4班・・・支所・文化ゾーン（文化施設や公園等の公共空間と景観について考える）
- 5班・・・自然・河川ゾーン（清武川と岡川の河川敷や山並みと景観について考える）



まち歩きの様子



6・7時間目

まち歩きのまとめ・発表

まち歩きを振り返り、班ごとに撮ってきた写真を、模造紙上で良い景観と問題のある景観に分類してまとめました。最後に班ごとに発表してもらいました。

意見がまとまらなくてもOK。
とにかく自由に話し合しましょう！



まとめ方のポイント

現状について、どう感じたか付箋に書く
(良かった点は？問題のある点は？)

どう感じたかみんなで話し合う

まちがこうなったらいいなと話し合う
意見は模造紙に書き、重要な意見にマーク

グループごとに発表



発表の様子と各班の調査成果



1班 学校周辺ゾーン



2班 住宅地ゾーン



3班 商業地ゾーン



4班 支所・文化ゾーン



5班 自然・河川ゾーン



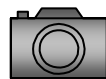
「私が見たちょっといい景観」の取材

夏休み中の毎日の生活の中で、ちょっとまちの姿に目を向け、「これってなかなかいいな～」と素直に感じたまちの景観の写真を撮ります。

具体的な取組み方

- ・各自1台ずつ簡易カメラを渡します。
- ・清武や旅行先で、「いいな～」と思う景観をカメラに収めます。
- ・現像した写真から、各自お気に入りの写真を2枚選び、レポートを作成しました。レポートは、10月の文化祭で展示しました（P39参照）。

Check



簡易カメラを一人一個ずつ準備しました。



フィルムの現像は景観課で行いました。

まちなみ観察の感想（抜粋・要約しています）

- ・小さい頃から見ている木なので、なつかしい感じになる。（大樹）
- ・これからも、この川と自然を大切にしていきたい。（ススキといおや川）
- ・建物の外だけでなく屋内も昔の日本っぽくつくられていい。（弓道場）
- ・自然が豊かで歴史を感じる。（中野神社）
- ・こんなきれいな風景があるのを知った。これからは、こういう風景を守っていきたい。（清武の自然）
- ・どこまでも畑が続いていてすごいと思った。（いも畑）
- ・あまり目立った色をした建物が少ないことに気づいた。（福岡の街）
- ・安井息軒旧宅やその階段は清武石を使っていいなと思った。（安井息軒の旧宅）
- ・階段が影になっているので涼しいし、歴史を感じるのでもいいなあとと思う。（寺への階段）
- ・高千穂町の特色が出ていて、緑が多くていいなあとと思った。（高千穂トンネル）
- ・何もなく家が建っているだけだけど、緑が多いのですごく落ち着く所でもいいなあとと思う。（家の近くの道路）
- ・自然が多く「清武」って感じていいなあとと思う。（清武川）
- ・山と海が両方見れて、とても心が落ち着いてとても良い。（青島）
- ・緑が多くて家の色も派手すぎず地味すぎずいいなあとと思った。（展望台からの眺め）



第4章 景観を提案する (STAGE 4)

景観教室の締めくくりとして、清武の将来の景観について提案制作を行います。

8時間目

キャッチフレーズ(テーマ)を決める

提案制作にあたり、まず各班でどのような「まち」にしたら良いか、まち歩きの結果パネルをもとに、みんなで自由に話し合いキャッチフレーズ(テーマ)を決めました。

まち歩きを思い出してね。



良いところは何かなあ…



どの写真がい
いかなあ。



中心部にはにぎわいも欲しいなあ…



清武川の自然を生かしたいね～



各班のキャッチフレーズ

1班 「清武町の+・-」(学校周辺ゾーン)

2班 「This is 清武」(住宅地ゾーン)

3班 「色どりがきれいな景観 ～清武町らしい自然と歴史あふれるまち～」
(商業地ゾーン)

4班 「自然とにぎやかな町 清武!!」(支所・文化ゾーン)

5班 「僕らのシンボル清武町 ～鳥も魚も人もあつまり、四季を感じる清武川～」
(自然・河川ゾーン)

9・10 時間目

提案制作

いよいよ提案の制作です。

建築士会の方々のアドバイスをいただきながら、清武町の将来像についての提案パネルを制作していきました。

また、10月の文化祭での発表に向けて、代表生徒2名で発表用のパワーポイントも作成しました。

提案制作の様子

制作時間が少ないけど、頑張っ
てね!

みんなで作業分
担してつくりあ
げましょうね。

???

この写真はこ
の提案で使お
うね。

清武らしい景観
って何かなあ。

この通りは、歩
行者天国にした
いよね。

慎重に書か
なきゃ。

11 時間目

提案パネルの発表

文化祭当日の発表を見据えて、これまでの景観教室で学んだことや感じたこともふまえて発表してもらいました。



↑
パワーポイント
もバッチリです。



1班



2班



3班



4班



5班

1班 清武町の+

良い点

- 1 清武石が使われている
- 2 緑が豊か
- 3 住宅が花などの植物を植えている
- 4 歴史がゆさ

悪い点

- 1 物が壊れている[公共物]
- 2 ゴミをポイ捨てしている

自分たちに出来る事は!!

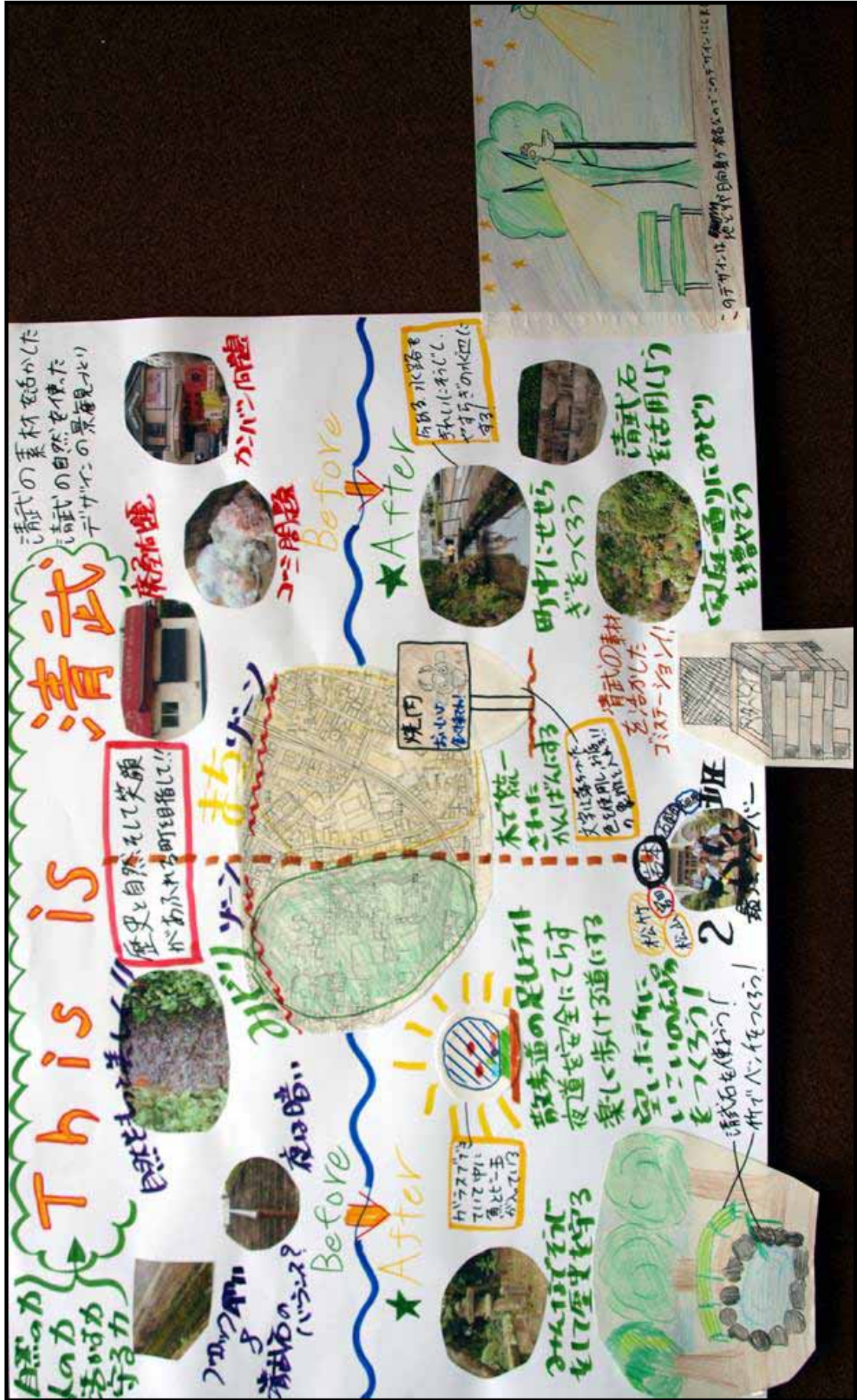
電柱をなくす

ゴミはゴミ箱にちゃんと捨てる!!

アスファルトをなくす

緑を大切にしよう

彦真也 辰優 高橋 黒中 梨克 梨衣 紗里 美月



3班 「色どりのきれいな景観～清武町らしい自然と歴史あふれるまち～」

(商業地ゾーン) 建築士会担当：海老原さん

色どりのきれいな景観

～清武らしい自然と歴史のあふれるまち～

色どり
黄色が主役

特産の日向夏みかん
パパイヤをイメージした
黄色を基本に
色とりどりの花で
楽しい通りにする。

清武町らしい
水と石
きれいな水を
身近にうるおい
のある通りにする。



水の豊かな清武町!!



日向夏



ハハイア



清武石のイ
石積
歴史を味わう
通りにする。





ココ-Colaを
赤からに...



偶然見つけた
の石!!



色とりどりの花と
清武石!!



自然と歴史!!

店頭にも花を








自然とにぎやかな町 清武！！

4班
 河野 菜穂
 黒田 優希
 金野 舞悟
 梶 悠佑
 川野 翔


自然ゾーン

支所の前に自然
 (いばら川におお)




水と緑
 緑と木
 ← 自然環境の大切さ

支所の壁に
 リタをばあ
 セエウ!!



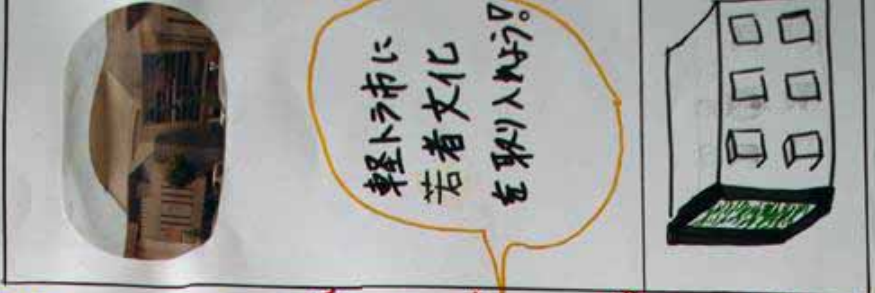
いばら川ゾーン




馬主車場を有知活用
 季節ごとに
 祭りを行う
 屋台と花火。



(いばら川を
 広げる)

軽トラ市に
 若者文化
 を取り入れる。



全体講評

(建築士会越山さんから)

今回、皆さんに中学校周辺を中心にまち歩きをしていただき、最後にまちづくりの提案をしていただきました。どの提案も清武の歴史と豊かな自然を生かして良いまちにしていきたいというメッセージが込められています。

これからは市民の皆さんが主役となってまちづくりを行い、愛着のあるまちにすることが重要となっています。今回の体験を将来のまちづくりに生かしていただきたいと思います。



(景観課から)

皆さん、景観教室お疲れ様でした。

今回、まち歩きやパネル作成により、これまで見えてこなかった新たな清武について発見したことで、清武への愛着が深まったのではないかと思います。また、プロの建築士の方々に授業していただいたことは、新鮮で貴重な経験だったことと思います。

これからも、今回の授業で学んだことを心に留め、郷土清武や宮崎の景観を常に意識し、美しい景観づくりの担い手になっていただければと思います。そして将来、皆さんが家づくりや店づくり、まちづくりに関わることがあれば、この景観教室で学んだことを思い出してください。きっと美しい景観づくりに貢献できることでしょう。



第5章 景観教室をふりかえって

齋藤先生の感想

最後に齋藤先生から、景観教室全体の感想をいただきました。

本年度、清武中学校で、2年生の選択社会科29名を対象に景観教室が開かれました。「景観というものは何か」を考える内容から始まり、自分たちの住む清武の町の「景観」を知り、新しい清武の「景観」を提案するという流れで授業が進んでいきました。

生徒たちは、はじめは「景観って何？」というような表情で授業を受けていましたが、徐々に活動することを楽しみを見出し、積極的に授業に参加し、今まで考えたこともなかった「景観」というもの考えることができたようです。特に、班ごとに分かれて清武の町の中を歩き写真を撮りながら町の姿に気づく活動や、新しい町なみを提案していく活動には、意見を出し合いながら積極的に活動をすることができました。最後には、パネルとステージによる文化祭での発表を行いました。緊張もしたようですが、文化祭での発表もよい経験になったようです。

自分たちの住む町の様子や歴史を学ぶ授業は、小中学校の社会の時間などに設定されていますが、「景観」だけに重きを置いた授業というものはありません。わたし自身、「景観」というもの考えるよい機会となりました。今の日本はどこに行っても同じような「景観」が広がっており、その中で個性を発揮するまちづくりをめざしていくということは、これからの日本を考える上でも大切なことではないかと実感しました。その主役となるのは、これからの日本を背負っていく中学生時代でしょう。その中学生たちに「景観」を考えさせる授業は大変意義深いものでした。近い将来、「景観」に携わって仕事をしていく生徒がいるかもしれません。機会があれば、ぜひ多くの生徒に「景観」について考える授業を提供していきたいと思います。自分たちの住む町の姿を知り、これからの未来を考えていく、自分たちの住む地域を大切にしたい生徒たちが増えていくのではないかと思います。

また、生徒たちが積極的に活動し、意義深い取組みとなったのは、毎回、楽しい内容の提供とあたたかい手助けをしていただいた宮崎県建築士会・宮崎支部（K O A L A 宮崎）の皆さまと、支えていただいた宮崎市役所景観課の皆さまのおかげだと思います。

お忙しい中、大変ありがとうございました。

宮崎市立清武中学校 教諭 齋藤秀一

生徒の皆さんの感想

清武中学校の生徒の皆さんに、景観教室を振り返って感想を書いていただきました。全文を掲載することはできませんが、その一部をご紹介します。

☺ 僕は、景観の授業を受けて、はじめは「景観って何だろう。」と思っていたけど、今で

は景観というのは、目に映るもの全部で、それをちゃんときれいに残さなければならぬのだなあと思えるようになってきました。

授業で役場周辺をまわった時に、良い景観の所もたくさんあったけど、悪いなあと思う所もけっこうあったので、この清武町を少しでも良い町にするために良い景観をつくって行けたらなあと思います。

☺ 今回の景観授業はとても勉強になりました。

普段教わらないことなど、はじめて知ったことも多々あり、楽しい授業でした。町を探検したりしたことが一番心に残っています。清武町に良いところがあるのは分かっているけど、逆に悪いところはあるのかなと思って探検しましたが、使われていないような建物や彩りが悪かったり、汚れていたり少し悪い点が目立ち、ビックリしました。目を向けていなかったのがすごく分かりました。この授業が無駄にならないよう生かしていきたいです。

☺ 私は、最初「景観」というものをあまり知りませんでした。少しずつ景観のことについて色々なことが分かりました。清武町をまわっているいろんな発見がありました。山の方では湧き水があつたりして、知らないことがたくさん見つかりました。悪いところや良いところをもっと良くするための工夫などを考えることができて良かったです。家の色も、色は派手ではないものや景観を良くするためのきまりもあるのだなあと思いました。これからも自分のまわりの景観をしっかりと見ていきたいです。

☺ 私は、最初「景観」という言葉の意味を知りませんでした。景観を写真にする授業では、清武の良いところがいっぱいあってよかったけれど、その反面、悪いところもありました。その撮った写真をまとめる時は難しかったけどどうまくまとめられて良かったです。夏休みの課題でいろんな景観を撮る時は、とても良い写真が撮れてうれしかったです。

☺ いままで何気なく通っていた道が少し目線を変えただけでこんなに風景が変わるなんて思ってもみなかったです。

写真を撮りながら道を歩くだけでも、今まで気づかなかった物などを発見できました。最初は、「景観ってなんだろう。」と思っていたけど、授業の中でいいことを学んだと感じています。

☺ 僕は景観についてはじめは何がなんだか分からなかったけど、授業を受けていくうちに、景観がまちの色あいや建築物についてのことだと分かりました。

清武町では「自然が多い」というメリットがあったので、僕たちがその自然を守り、これからも清武町の良いところを増やしていきたいです。

☺ 僕は、授業の中で実際に町に出て清武町のいつもは分からないところなど、いろいろな町の良いところや欠点が手にとるように分かりました。

清武町をこのようにしたいという思いを書いたものが少しでも町の活性化につながる

といいなあと思います。

- ☺ はじめて「景観」を知りました。
授業の中で、外へ出て写真を撮ったりしたので楽しかったです。
清武町のことを模造紙にまとめ、発表をした時、緊張しました。写真を貼ったり、色をつけたり提案をしたりして、とても楽しかったです。この景観教室で話し合ったことが清武町の発展につながるといいなあと思いました。
- ☺ 私が「景観教室」で学んだ事は、建物や道、草、木など考えてつくっているという事です。
また、授業の時に、外へ出て「清武町の景観」について調べまとめると、今まで分からなかった清武町の事が分かりました。景観とは何かよく分かりました。また、良いところは守り続け、そして悪いところは改善されると良いです。
- ☺ 授業を最初に受けたときは、景観の事はまったく知らずになんのことも分かりませんでした。だけど、景観の学習を重ねるうちにつれて「景観がどういうものか」ちょっとずつ分かっていき、町中を歩いた時には違った目線で見れました。
それに、夏休みの宿題で写真を撮っていたときは、いろいろな所をまわってきれいな場所などがけっこうあってびっくりしました。
この景観教室で教わったことを大切に、今後は清武町の景観を守っていきたいと思います。
- ☺ 今までふつうに見ていたものが景観教室でとてもたくさんのが分かりました。
夏休みにカメラで風景を撮る宿題がありました。最初は面倒くさいと思っていたけれど、途中からおもしろくなってきました。
僕達の班は、学校周辺を歩いたけれど、よく見ると緑がたくさんあったり、川があったり、清武石が使われていたり、意味がないものがありました。
一番楽しかったことは、レポート作りです。良いところと悪いところがあり、これからできることを考えたりするのが楽しかったです。
- ☺ はじめは全然「景観」とか興味がありませんでした。でも景観についていろいろ勉強して、はじめて清武について詳しく観察しました。
私たちが住む清武町はイメージからして田舎です。そのイメージをくずさない景観にしたいです。これからも清武をもっともっと知っていきたいし、自分で感じた事、思った事はどんどんメモっていきたいです。
今でも「景観の事、全部分かった。」とは言えませんが、もっともっと景観について勉強していきたいです。
- ☺ 今回の景観の学習ではじめて知ったことがたくさんあり、特に清武町の景観を写真で撮りに行ったときは、とても心に残っています。清武町の良い所や変わっているもの、歴史のあるものなど、たくさん写真を撮って歩き回り、清武町の景観をはじめて知りま

した。また、撮った写真をまとめる時はとても難しかったけど、みんなと協力してまとめることができました。文化祭では今まで教わったことをみんなに伝えられるといいです。

- ☺ 景観のことを学習して、景観のことを知ることができました。町を探検して、その見たもので、「良いなあ」と思うところや「これは駄目だな」と思うところをカメラで撮って、班でまとめて発表したことで、景観のことについて学習することができました。

最初は、景観のことについて何も知りませんでした。でも今は少し景観のことが分かるようになりました。この学習をとおして景観のことを学習してとても楽しかったです。

- ☺ 自然の事を考えて建物の色や形を考えて建てた方がよいことやいつも通っている道をよく見ると気づけなかったことなどを知ることが出来たこと、閉店している店があったり、ゴミなどが落ちていたり、古くてさびている建物があるとその町の景観が悪くなることも知ることができました。

また、地図に良い所と悪い所の写真を貼ることによって、清武町の良い所や悪い所がどこなのかを改めて知ることができました。

清武町の良い所をもっと増やし、悪い所が少しでも無くなるようにボランティアなどに協力していきたいと思いました。

- ☺ はじめは「景観」という言葉は聞き慣れなくてあまり理解できなかったけど、景観について学習していくうちにどんどん分かり出しました。

班のみんなと外に出て写真を撮ったり、話し合いをしたり、発表用の紙に書いたりしてすごく楽しかったです。びっくりした事は、家や建物の色が制限されていることです。

はじめて知った事などが多かったので、これからも覚えていきたいと思います。

- ☺ 僕は景観教室で清武川周辺を調べました。調べてみると思っていたのとは違って自然が少なかったです。そして、雑草の手入れなどもやっていなくて、あまりきれいじゃないなあと思いました。

もっと川原を整備したり木を植えたりして自然を増やせばきれいになるし、人も集まりそうだなあと思いました。清武町をきれいにするには、一人だけではなくみんなで頑張らないといけないなあと思いました。

- ☺ 僕は、景観というのはとてもおもしろいなあと思いました。

景観教室でとても面白かった事は、みんなで清武町の町を回り写真を撮った事です。

清武町には歴史がいっぱいあり、カラフルな建物のものもいっぱいありました。

最初は、何も景観について考えていなかったけれど、景観というのはとても大切なことだなあと思い、今度からはごみを拾ったり町をきれいにしていきたいです。

- ☺ 僕は、景観教室で学校周辺を調べました。学校周辺の写真を見て思ったことは、意外にゴミがいろんなところにあってびっくりしました。

ゴミがない清武をつくるためにポイ捨てなどをしないようにしたいです。清武を知る

ことができ良かったです。

- ☺ 僕は、今回の景観の学習で学んだことは街と景色の組合せと景観の大切さです。僕は今まではまちをぱっと見ても、ただたくさん色が目に入るだけで色の組合せや植物のある場所などのことはあまり考えませんでした。でも今回の景観の授業を受けて、街の中の景色や色の組合せをよりよく見ることができます。今までよりも街をきれいに見ることができ、あらためて景観の大切さを知ることができました。
- ☺ 僕がこの「景観教室」で学習したことは、景観のすばらしさです。
僕は今まで景観というものを知りませんでした。でもこの授業を受けて景観に興味がありました。
景観とは「街の景色を良くする」ということなので、僕はそういう想像をすることが好きなのでとっても楽しく景観について勉強ができました。また、K O A L Aのメンバーの皆さんと実際に出歩いて、色々な所をまわったことが楽しかったです。
- ☺ 僕は今まで景観という言葉も知らなくて全然興味がありませんでした。
しかし、景観の授業を受けていくうちに分からなかったことが分かるようになってきて、もっと調べたいなあと思うようになりました。今回の授業はもう終わったけど、興味がわいたので自分で景観のことについて調べてもっと詳しくなれたらいいなあと思いました。
- ☺ 私は、景観という言葉をはじめて聞いたので、最初は「景観って何だろう。」と思っていました。だけど、授業を通して景観のことが少しずつ分かりました。今、私達の住んでいるこの清武町にもたくさんの景観があります。
将来、景観という言葉を知ったら、今までに習ったことを思い出したいです。
- ☺ 景観教室と聞いて、はじめは何のことを言っているか分かりませんでした。景観についてどんなことが景観になるのかを知り、清武町はそのような所なのかをこの学習であらためて気づくことができたと思いました。そして、良い点とともに悪い点に気づくことができ、どのようにすれば清武町の悪い点を減らすことができるのだろうと考えました。私は、清武町の良い点を守りながら、悪い点を減らせるようがんばりたいと思いました。
- ☺ 私は、清武町の周辺を探索したのですが、みんなで楽しく写真を撮ったり、調べたりできてとても良い経験ができたので良かったです。また、清武の素晴らしいところを再発見できたのでこれからも清武の様々な良いところを大切にしていきたいと思います。景観教室で学んだことを生かしていきたいです。
- ☺ 僕は今まで景観という言葉も知らなかったけど、景観教室で身の回りの風景を学ぶことができました。また、まわりの景色などを見て良いところや悪いところが分かるようになりました。

これからは景観に興味を持ち、自分の家もきれいにしていきたいです。

- ☺ 景観教室で普段から見ていた景色を違った角度から見るができるようになりました。また、清武を調べてみて、改めて清武には自然が多いのだなあと思いました。しかし、周りに合っていない人工物などがあり、少し残念な気持ちになりました。清武川を調べてみて、清武川は清武のシンボルのなものだと思いました。清武川に人が集まれるような場を作り、人が集まるようになればさらに良くなると思いました。
- ☺ 私は、自分達の住んでいる町の「景観」というものには、あまり気にかけていませんでした。そもそも「景観」の意味も知りませんでした。しかし、授業の中でどんどん意味を知り「景観」とは、私たちの町の材料を活かしていろいろなものをつくったり、その場に合った色あい、形などを合わせてできるものだと分かりました。私たちの班では、そのことを話し、清武にふさわしいものを考えてみました。このようなことを考えるようになったのは、景観教室で学習したからだと思いました。
- ☺ 私は、はじめて景観ということを知って驚いたことがいくつかありました。それは、色と色の関係で印象がものすごく変わって雰囲気が違うと感じたことです。今まで気づかなかったことも見てみると清武町も色と色の関係をしっかり考えていてバランスが良く目にもやさしくて落ち着く町だったんだと思ひ返しました。ほかにも、違う国の景観や県の景観も知れてよかったです。その国独特の家の作りや歴史的な建物などがとてもきれいでこうゆう所に住みたいと思ひました。これからも景観を意識して毎日楽しく過ごしていきたいです。



H22.10.24(日) 清武中学校文化祭(清瀧祭)での成果発表とパネル展示



～ 景観教室のあゆみ ～



- 平成 12 年 10 月 平成 12 年度まちなみ観察隊（宮崎中学校、生目中学校、青島中学校）
現在、社会科の授業の中で実施している景観教室の形態とは違い、学校の授業とは切り離して土曜日や日曜日、夏休み限定で活動を実施していた。
- 平成 13 年 7 月 平成 13 年度まちなみ観察隊（榎中学校、青島中学校、赤江中学校、大淀中学校、生目中学校、住吉中学校、宮崎大学附属中学校）
- 平成 14 年 10 月 中学生のための景観教室（木花中学校（生徒 13 名））実施
平成 15 年 2 月までの約 20 時間
- 平成 15 年 7 月 中学生のための景観教室（宮崎東中学校（生徒 33 名））実施
平成 16 年 2 月までの約 15 時間
- 平成 16 年 7 月 中学生のための景観教室（生目台中学校（生徒 27 名））実施
平成 16 年 12 月までの約 15 時間
中学生のための景観教室（東大宮中学校（生徒 21 名））実施
平成 16 年 10 月までの約 19 時間
- 平成 17 年 6 月 中学生のための景観教室（住吉中学校（生徒 34 名））実施
平成 18 年 2 月までの約 9 時間
- 平成 18 年 6 月 中学生のための景観教室（青島中学校（生徒 13 名））実施
平成 18 年 12 月までの約 9 時間
- 平成 19 年 5 月 中学生のための景観教室（久峰中学校（生徒 21 名））実施
平成 20 年 2 月までの約 25 時間
- 平成 20 年 5 月 中学生のための景観教室（高岡中学校（生徒 22 名））実施
平成 21 年 3 月までの約 26 時間
- 平成 21 年 5 月 中学生のための景観教室（田野中学校（生徒 21 名））実施
平成 22 年 3 月までの約 28 時間
この年から、（社）宮崎県建築士会の全面協力のもと実施。
- 平成 22 年 6 月 中学生のための景観教室（清武中学校（生徒 29 名））実施
平成 22 年 10 月までの約 11 時間
- 平成 22 年 7 月 中学生のための景観教室（加納中学校（生徒 34 名））実施
平成 22 年 12 月までの約 9 時間



第3部 景観教室

宮崎市立加納中学校編

第1章 オリエンテーション (STAGE 1)

1時間目

オリエンテーション

吉住先生から授業内容の説明
景観課より、景観教室について説明
建築士会川添さんより、あいさつ

- ・ 建築士会の皆さんの自己紹介
- ・ 授業の流れについて説明。

自己紹介

- ・ 生徒と講師の皆さんが、それぞれ自己紹介を行いました。
- ・ 自己紹介と清武（宮崎市内）の好きなところなどについて地図を使って発表しました。

いっしょに景観について勉強しましょう！



みんな、清武のどこが好きかな？



好きなところがいっぱいあるなあ・・・



講師の皆さんも発表しました。



ふむ、ふむ



生徒のみなさんが好きだと思う「清武（宮崎市内）」

- ・ 加納小探検の森
- ・ 清武川、黒北川
- ・ 船引の畑
- ・ 加納中から眺める景色
- ・ えんぴつ公園
- ・ 加納グラウンド
- ・ 加納小の通学路から見える景色
- ・ 加納小近くの池のピンクの花
- ・ シーガイア
- ・ 生目の森
- ・ 青島
- etc...

第2章 景観を知る (STAGE 2)

2時間目

清武(加納)のイメージを探る

清武または加納について、「マインドマップ」で連想し、何でも自由に書きました。最初は、なかなか連想できなかった生徒さんたちも、建築士会の皆さんのアドバイスを受けて徐々にイメージが膨らんできました。

結果、各班70~119個のキーワードを出してもらいました。最後に、連想した言葉の中から、「これぞ清武(加納)！」という言葉、班ごとに1~3個選びました。

各班が選んだ言葉

- ・1班「加納小」「大クス」
- ・2班「安井息軒」「清武川」「自然」
- ・3班「安井息軒」
- ・4班「安井息軒」
- ・5班「加納中」「田舎」「加納グラウンド」
- ・6班「住宅地」
- ・7班「安井息軒」「加納バイパス」
- ・8班「日向夏」

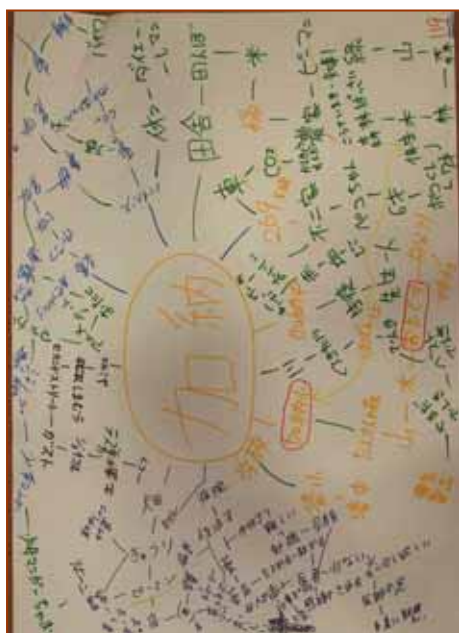


思いつくことを書いてね!

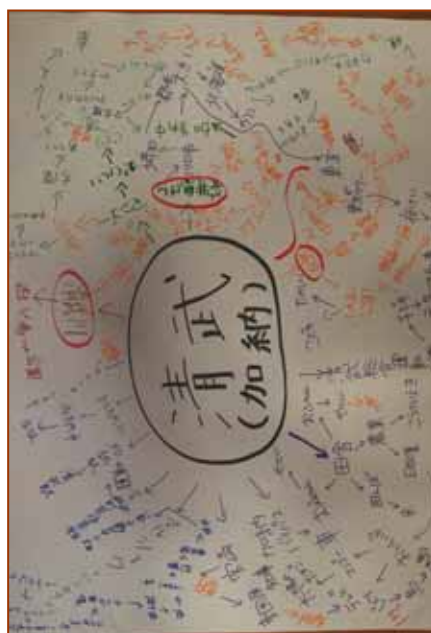


119個!
おみごと!

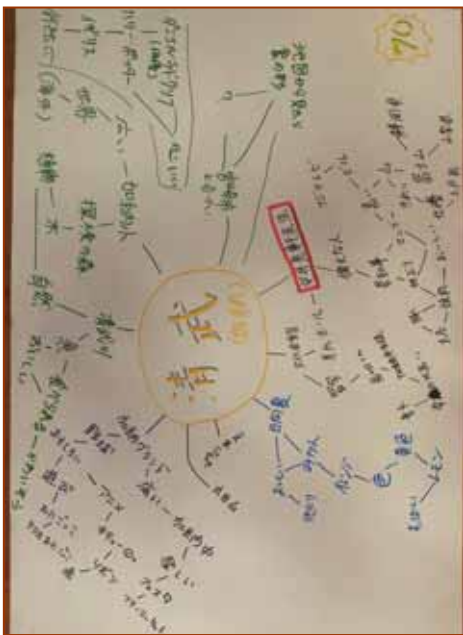
【各班のマインドマップ】



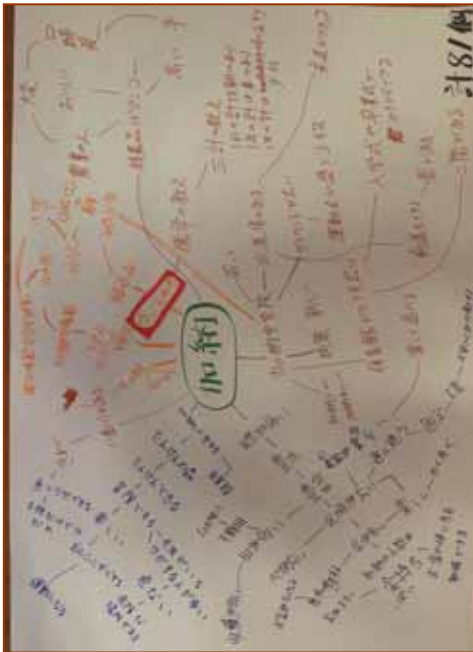
1班のこれぞ加納! 加納小,大クス



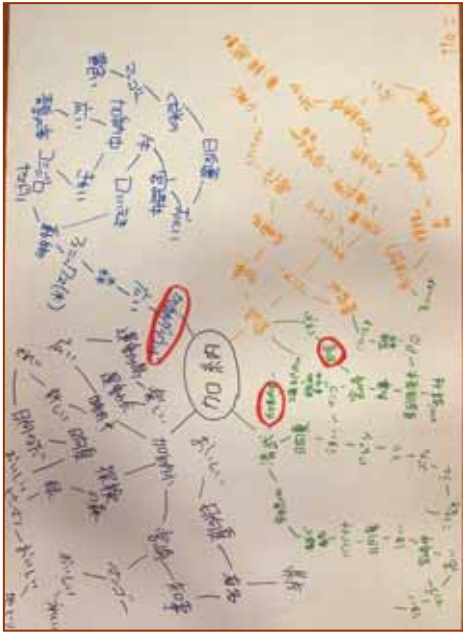
2班のこれぞ清武! 安井息軒,清武川,
自然



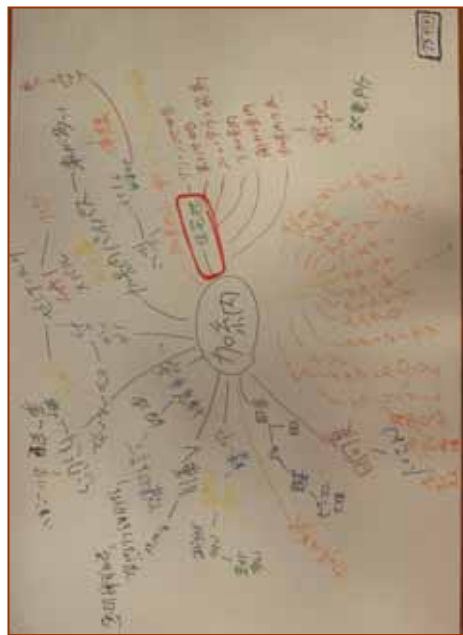
3班のこれぞ加納！ 安井息軒



4班のこれぞ清武！ 安井息軒



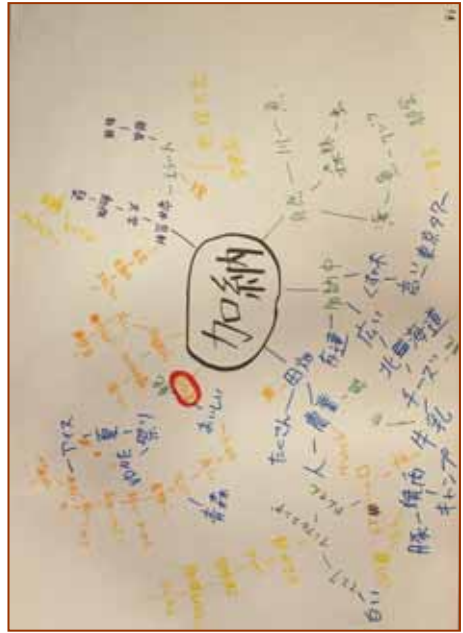
5班のこれぞ加納！ 加納中,田舎, 加納グラウンド



6班のこれぞ加納！ 住宅地



7班のこれぞ加納！ 安井息軒, 加納バイパス



8班のこれぞ加納！ 日向夏

3時間目は、「景観に気づく（STAGE 3）」を実施しました（P46参照）。

4時間目

景観とは何か？

景観づくりの基本となる法律や条例、宮崎市の取り組みなどについて、景観課より説明を行いました（授業内容については、P9（清武中学校編2時間目）参照）。

また、市民意識の啓発として、今年度から始まった「宮崎市の風景絵画コンクール」の入選作品を紹介しました。



難しいなあ...

宮崎市の風景絵画コンクール

【目的】

将来を担う子どもたちに、市内の風景を描くことで、宮崎への愛着や景観への関心を高めよう

【募集内容】

夏休み期間中に市内の小中学校に通学する児童、生徒さんを対象に、「宮崎市のお気に入りの風景」絵画を募集

【部門】 小学生3部門、中学生1部門

【平成22年度募集総数】 745点 【平成22年度入選数】 82点



中学生部門 金賞



中学生部門 銀賞



中学生部門 銅賞

5時間目

景観をつくるもの

世界の景観について、建築士会の越山さんより授業していただきました（授業内容については、時間目）参照）。

外国にはきれいな
まちがたくさんあ
るんだなあ...



第3章 景観に気づく (STAGE 3)

3時間目

まちなみ観察・調査

今回は、夏休みの課題を生徒の皆さんに発表してもらいました。発表では、選んだ場所とその理由を説明してもらいました。

「私が見たちょっといい景観」の取材

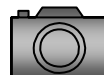
夏休み中の毎日の生活の中で、ちょっとまちな姿に目を向け、「これってなかなかいいな～」と素直に感じたまちな景観の写真を撮ります。

具体的な取組み方

- ・各自1台ずつ簡易カメラを渡します。
- ・清武や旅行先で、「いいな～」と思う景観をカメラに収めます。
- ・現像した写真から、各自お気に入りの写真を1枚選び、レポートを作成しました。



Check



簡易カメラを一人一個ずつ準備しました。



フィルムの現像は景観課で行いました。

課題発表の様子



発表では、みんなが知っている宮崎市内の観光地（県庁、堀切峠など）や海・川などの自然が挙がりましたが、中には普段から見慣れている自宅から見える風景や加納小学校などの思い出の場所なども挙げられました。

第4章 景観を考える (STAGE 4)

6 時間目

身近な景観を考える

私たちの身近な景観について、まず日本や宮崎県を代表する景観について生徒の皆さんに発表してもらいました。

日本を代表する景観については、「東京タワー」と「富士山」が多く挙げられました。また、「瓦」や「田んぼ」など日本各地で見られる景観も挙げられました。

宮崎と言えば、どんな景観が浮かぶかな？



日本を代表する景観

- ・東京タワー ・富士山 ・瓦屋根 ・レインボーブリッジ ・川 ・フジテレビ
- ・田んぼ ・金閣寺(寺) ・浅草 ・山 ・姫路城 ・琵琶湖 etc...

また、宮崎県を代表する景観については、以下のとおり自然に関する発表が多く挙げられました。

宮崎県を代表する景観

- ・楠 ・高千穂峡 ・県庁 ・都井岬
- ・鬼の洗濯板 ・韓国岳 ・青島 ・大淀川
- ・馬ヶ背 ・日南海岸 ・西都原古墳
- ・えびの高原 etc...

次に、宮崎県民歌や宮崎市民歌、加納中学校の校歌から浮かび上がる景観について考えました。

校歌を見ると、「清武川」や「大楠」、「緑豊かな」、「古人の教え」、「加納の丘」と加納地区に関係する景観が多く使われていることが分かりました。



加納中学校 校歌

清武川の 恵み受け
大楠のごと 育ちゆく
緑豊かな 大地に生きる
ああ 我が母校 加納中

遥かに望む 日向灘
古人の教え 胸に秘め
新たな歩み 歴史に刻む
ああ 我が母校 加納中

加納の丘に 光満ち
学び喜び 分かち合う
望みは高く 未来を拓く
ああ 我が母校 加納中

古人の教え = 安井息軒先生のことだね？
なるほど・・・

景観教室の締めくくりとして、街なみ模型制作を行います。

7時間目

模型制作（自由な街なみ）

提案の制作にあたり、まず宿題として事前に自分の住みたい家の絵を描いてきてもらい、その絵に基づいて各個人で模型を作成しました。

建物などは、発泡スチロールなどをカッターやボンドを使って切り貼りして制作しました。最初のうちはぎこちない手つきでしたが、徐々に上手くなっていきました。

Check ~この授業の目的~

ルールを無視して個人の自由なデザインで建物を作ったら、どのようなまちなみになるのか確認し考えてもらいます。



Check 主な模型材料

- ・発泡スチロールボード
- ・竹ひご
- ・スチレンボード
- ・スチロールカッター（発泡スチロールを切断します）

こうやって切りま〜す。



模型制作の様子



難しそうだなあ・・・



慎重に・・・



いろんな高さや大きさの建物が自由に建ち並んでいる街なみになっちゃったね～



この家、おもしろいね。

それぞれの建物が完成したら、班ごとのボードに配置し、そのボードをつなげて街なみを確認しました。自由に建物を制作したので、想像通りにぎやかな街なみになりました。このことから、住みよい街にするにはある一定のルールが必要であることが分かりました。

前回の自由な街なみ模型制作で景観ルールの必要性を感じたことを受けて、まず建築士会の川添さんより、これまでのおさらいと各地の景観に関する諸問題や世界各地の住宅について紹介していただきました。

その後、班ごとに街なみルールを検討し、みんながくらしたい街なみ（最終模型制作）に向けてのテーマ作成を行いました。



世界各地には様々なデザインの住居があります。



模図かずお邸訴訟問題

街なみルールの検討、テーマ作成

- ・各個人で理想の住宅や街なみのルールを付箋に書き出します。
- ・班ごとに付箋を整理して、班ごとのルールやテーマを決定します。
- ・ルールやテーマに基づいて、各生徒さんで住みたい家の設計を行います。

話し合いの結果、各班のテーマは以下のとおりとなりました。また、建物の大きさに関する共通ルールも決めました。

共通ルール

建物の高さは10m以内とする（1/100スケール）

各班のテーマ

1班 「自由でおしゃれな町」

たくさん意見を出してね。

2班 「植物いっぱいの町」

やっぱり、緑がいっぱいある街にしたいなあ～。

3班 「明るくて緑豊かな町」

4班 「緑豊かでユニークな家がある街」

5班 「人に優しい町」

6班 「緑豊かでデザインが良くて住みやすいおうち」

7班 「明るい感じの町」

じゃじゃ～ん。

8班 「環境によくて明るい住宅街」



最終模型制作の様子



各班のテーマに沿った住宅を制作して下さいね。

うまく切れないなあ…



まっすぐ切ろうね。



ここはこんな感じでいいかな？



この位置でいいかな？



できあがったら、組み合わせてみるよ。



わあ、緑いっぱい
の街なみが
できたね



完成！！

1班 「自由でおしゃれな町」



2班 「植物いっぱいの町」



3班 「明るくて緑豊かな町」



4班 「緑豊かでユニークな家がある街」



5班 「人に優しい町」



6班 「緑豊かでデザインがよくて住みやすいおうち」



7班 「明るい感じの町」



8班 「環境によくて明るい住宅街」



全体講評

(建築士会川添さんから)

今回、皆さんにグループワークや景観に関する写真などを通して、景観とは何か？について学んでもらいました。

最後にみんながくらしたい街なみを模型で提案していただきました。制作時間が多少足りなくて大変だったと思いますが、各班ともテーマに沿ったすばらしい街なみが出来上がったと思います。

これからも、今回の景観教室をきっかけに、将来の清武や加納のまちづくりに生かしていただきたいと思います。



(景観課から)

皆さん、景観教室お疲れ様でした。

最初は、発表や班ごとの作業に戸惑っている生徒さんも見られましたが、徐々に慣れてきて活発な意見を出していただきました。

最後の模型づくりは、はじめて扱う材料や時間が限られていたことで大変だったと思いますが、皆、一所懸命に作ってくれたので、本当に住んでみたいまちになったと思います。これからも、この教室で学んだことを生かして清武や宮崎の景観について考えていただきたいと思います。



生徒を代表して、朝日達也君からお礼の挨拶を頂きました

記念撮影



第5章 景観教室をふりかえって

吉住先生の感想

最後に吉住先生から、景観教室全体の感想をいただきました。

中学校社会科では、地理的分野において「身近な地域の調査」という単元が設定されています。通常、授業では「地形図の読み取り方」や「調査の進め方」について学習した後、「地域に出かけて観察したり、人から話を聞いたり、地形図や統計資料などを使って調べ、地域的特色をつかむ」ことをめあてに、自分の設定した調査テーマに沿って図書館などを活用して資料を集めたり、実際に地域の写真を撮ったりするなど、調査を進めています。

そこで、今回の「景観教室」では、次の2点を目標に授業を進めました。

自分の住む町「清武」についての地域的特色を見つけることで、景観についての興味をもたせ、学習に対する意欲を高めることができる。

地形図や写真などの資料から実際の景観を読み取ったりイメージしたりすることで、地理的なまとめ方や表現方法に関する技能を高めることができる。

実際の授業では、宮崎県建築士会の方々にご指導いただき、生徒は自分たちの住んでいる街について、自分の考える街のイメージを発表したり、実際に街並みを歩き写真に撮ったりすることで、地域の良さや様々な問題点に気付くことができました。また、街づくりのためには法的な決まり事があり、それをもとに公共空間の整備や私的領域の制限などが行われていることを知ることができました。

さらに、日本や世界の景観事例から街づくりについて様々な見方・考え方をすることができ、自分たちが住みたい街並みを提案することができました。今後は、今回の学習を活用して「身近な地域～清武～」についての学習を進めていきたいと考えています。

最後に、今回の授業で、ご指導ご支援をいただいた宮崎県建築士会（宮崎市景観整備機構）の皆様、宮崎市都市整備部景観課の皆様に、心から感謝いたします。ありがとうございました。

宮崎市立加納中学校 教諭 吉住京太郎

生徒の皆さんの感想

加納中学校の生徒の皆さんに、景観教室を振り返って感想を書いていただきました。全文を掲載することはできませんが、その一部をご紹介します。

☺ 一番はじめに「景観教室がある」と聞いてうれしくなりました。それは、僕が景色を眺めたり、撮ったりするのがとても好きだからです。

僕がいい眺めだと思って撮った夏休みの宿題を景観教室で発表したら、先生から「観光の写真みたい」と言われて、とてもうれしくなりました。いい景色に出会えたなと思いました。

景観教室を通して、町のルールなどが分かりました。ありがとうございました。

- 😊 今回の景観教室で景観のことをしっかり知ることができたので良かった。
特に世界の景観や日本ならではの景観などを学んだことが特に勉強になった。また、自分の住みたい家をつくって、その後、景観のことについて学んだ後に改めて自分の住みたい家をつくって比べる授業がとてもおもしろかったです。
今回の授業で景観のいろいろなことを知れて良かったです。
- 😊 私は、初めて「景観」という言葉を聞いてどんなものかととても楽しみにしていました。僕は、今までたくさんの授業を受けて、僕でも分かったことが1つあります。それは、家をつくるときにもルールがあるということです。初めて家をつくったときは、とてもめっちゃくちゃでした。だけど、2回目はしっかりときれいに整っていて住んでみたい家になりました。
他にも夏休みのときは、遠くまで行って写真を撮ったり、発表をしたりとたくさんの思い出をつくることができました。
- 😊 私は景観教室がとても楽しかったです。
最初は、写真を撮って発表し、東京か京都、いろんな所の写真を見たり、街を作ったりしてとても楽しかったです。
写真を撮る時、どこを撮ればいいのか、どんな発表をすればいいのかなど、分からないことはたくさんあったけど、みんな（班の人）で楽しくして、あんまりしゃべらない人と仲良くなって、とてもうれしく思います。家も自分なりの家が作れて本当に楽しかったです。
- 😊 コンピューターを使って日本の景色を見たり、いろいろな世界の景色を見ることや建築物の色の濃さ、高さなど何気なく建っている建物もそこらへんを注意して建てているんだと思い、とても勉強になりました。
自分たちでルールを作ってルールに合わせた町をつくるのはとても難しく景観課の人たちや建築士会の人たちの大変さが分かりました。
僕は建築士を目指しているので勉強できてよかったです。
- 😊 はじめ景観教室は、写真か何かかな？と思っていました。
でも実際は、自分たちの身近な大切な物と知りました。
景観教室は、工作もあって楽しく授業ができたのでよかったです。
- 😊 景観の学習を終えて、自分の理想とする家のイメージが変わりました。特に、町の建築についてのルールがあると知り、はじめは疑問ばかり頭の中にはありましたが、授業を進めていくうちに、そのルールのある理由が分かってきて感心しました。
次回はもうないと思うけれど、今回教わった景観の学習は自分の将来に役に立つものが何かしらあると思います。

- 😊 いろいろな国や県の山や川などの景観の写真を見て楽しかったです。
自分の好きな景観を見つけ、写真を撮ってみんなの前で発表したとき、みんなの好きな景観がいろいろあることが分かってよかったです。
家を建てるのは2回あったけど、1回目は、高さやきまりなどを決めてなくて変だったけど、2回目は高さや決まりなどを決めてとても街らしくなり、とても面白かったです。
- 😊 今回の一番景観教室で楽しかったことは、町を作る作業です。はじめは自由にして作っていいということで、自分としては面白い形の家をつくりました。そして、今度は制限されたからかなり難しかったけど前回よりきれいで、住めるなら住んでみたいと思いました。
このような体験ができたから、今度何かに役立てられたらいいなと思いました。とてもいい学習になりました。
- 😊 僕は、この景観教室を学習して、初めて知ったことがいくつかありました。一つはその地域によって建てる家や施設の高さや色が制限されているということです。
二つ目はいろんなところに同じような景観がいくつもあるということです。これには結構驚きました。
僕は景観教室のおかげで少しは景観について理解することができました。これからも景観について学習していきたいです。
- 😊 町づくりを自分たちでやってみて最初は自分が住みたいように作っていましたが、次に決まりをつくってからやってみるとなかなか住みたい家ができませんでした。
だから僕は考えて作らないといけないなあとと思いました。僕は景観教室をやっただけに家を建てる時のきまりなど、いろいろな事をたくさん学びました。景観教室があっただけよかったです。
- 😊 最初に景観とは何かということで説明を受け、それからいろいろな国の景観や写真を撮ったりして景観が何かが分かった。
その後、実際に町をつくってみようということで、みんなで作ったが何もかもがめちゃくちゃで第二回の家づくりはすごく楽しかった。
これからもう一度もしないような経験をしたのでとても貴重で楽しかったです。またの機会があればやってみたいなあとと思いました。
- 😊 景観教室はいろんな所で学べるのがすごいなあとと思いました。
いろいろなまちとかを作ったけど、僕もいつか自分でつくった家に住みたいなあとと思いました。
僕は景観教室をしていて景観というのが分かってきたと思いました。また景観教室をしたいです。

- ☺ 景観教室を通して景観についてとてもよく分かりました。僕は全然景観について知らなかったのととてもためになりました。発砲スチロールで家の模型を作った授業はとても面白いと思いました。さらにそれで景観について具体的に知ることができました。ぜひ、ほかも学校でもやって欲しいと思います。
- ☺ 模型を作るのが楽しかったです。でも材料を切るのが大変でした。作品が完成し、みんなのを見てるとすごく楽しくて自分ももうちょっと面白くすれば良かったかなあって思いました。また世界の景観を見た時、すごくきれいで実際に見てみたいなあと思いました。私はきれいな風景が大好きなので、よく写真を撮ります。今回の景観教室をして、よりきれいな風景っていいなあと感じました。
- ☺ わたしは景観教室を通して、たくさん学ぶことができました。まず、家を建てる時、気を付けることがあるなんてびっくりしました。色に気を付けるなんて細かいなあと思いました。看板も派手なものはあまり良くないそうでびっくりしました。模型でやってみるとすぐに分かりました。赤い屋根などとても目立ちました。あと、高すぎるのも良くないなあ思いました。それとグループで活動することも勉強になりました。みんなで協力することも大切だと思いました。このことを生かして将来役に立てたいです。
- ☺ 私は景観教室で驚いたことや分かったことがたくさんあります。まずは家や建物を建てるのにもルールがあるということです。はじめは家を建てる時は自分の好きなように建ててもいいんだ！！って思っていたけれど、実際は違いました。まわりに合った色だったり、高さや幅が決まっていたり、緑を増やすための活動をしたりと環境にいい自然づくりをするのはいいと思います。模型作りでの2回目はルールが決まられていて作るのは難しかったけれど、しっかりとできたので、とってもうれしかったし楽しかったです。
- ☺ 景観教室は短い時間だったけど、とても楽しかったです！！はじめに景観教室をして町づくりやたくさんを知りました。知らなかったことが多く、初めて聞くこともありました。私が景観教室の中で一番楽しかったことは、夏休みの課題であった自分のお気に入りの場所を撮ることでした。また景観教室がやりたいです！！
- ☺ 景観教室ではたくさんの建物を建てる時のルール（決まり）や気をつけていることを教えてもらい楽しみながら学べました。特に世界や日本の景色を写真で見せてもらったのが一番楽しかったです。ますますスペインに行きたくなりました。最後は工作も入り、1年2組の町づくりをしました。たくさんのユニークな建物が多くて楽しかったです。こんな町に住みたいなあと思いました。たくさんのが学べて

とても楽しかったです。

- ☺ 今回の、初めて景観について勉強しました。景観の意味から教えてもらいました。とても分かりやすく楽しかったです。

最後の2時間は、実際自分達が住みたい家を作りました。少し時間が足りなかったなあと思います。けど、その短い時間で作った家はとても面白く工夫されている住宅地もありました。

景観教室は毎週楽しみにしていた授業でした。すごく良い勉強になったと思います。とても楽しい時間でした。ありがとうございました。

- ☺ 私は景観教室を受けて、町づくりに向けてのきまりの勉強から世界の景観など聞けて、すごくよかったです。また、先生たちと協力して作った町は、はじめはすごくユニークで2回目はすごくバランスよくできていてきれいでした。作っているときは、たくさんのアイデアが浮かんで来て、それを実行するのは大変だったけどすごく楽しかったです。

そして数回しか景観教室がなかったけど、すごく楽しめて勉強になりました。ありがとうございました。またこういう機会があったらイイと思いました。

- ☺ 景観教室では、映像を見たり発砲スチロールで住んでみたい家をつくったりして、とても勉強になったし、楽しかったです。

景観に気を使っていない家の例や、景観に気を使っている自動販売機など、めずらしいものを写真で説明して下さったので、とてもよく分かったし初めて見たからびっくりしました。大人になって家などを建てる時は、今回習ったことを忘れずに利用できたらいいです！！

- ☺ 景観教室では、街のルールやいろいろなことを教えてもらいました。

今まで知らなかったこともたくさんあり勉強になりました。いろんなルールがでて、そんなにあるんだなあと思いました。

自分たちで考えたりするのは大変だったけどいい学習になりました。

工作もできたので得意じゃなかったけど楽しかったです。今回学習したことをこれからは使えるときに使っていきたいと思います。

- ☺ 私は「景観」というものをぜんぜん知りませんでした。だから、とても自分のためになりました。その中で、ひとつ疑問になったことがありました。この景観というものを知らない人達はどのようにしているのかなあと…。私達は、まだ家も建てられない何もしようがない状態なので、今、景観というものを知れて良かったです。

今回、このような「景観教室」というものを計画していただき、本当にありがとうございました。

- ☺ 世界のいろいろな景観を知れて良かった。

私たちの町をつくったとき、はじめはルール無しに家の模型を作りましたが、次の時間にルール有りで作ったら、少し難しかったけれどバランスがとれたと思いました。もう少し時間が欲しかったです。

日本での景観は、どこの道路を通っても看板や電線で複雑な場所があり、同じ風景だったので、未来ではそれぞれの地方で特徴がでるようになって欲しいと思いました。

- ☺ 景観教室の学習を終えて、私は景観とは何かなどいろいろなことについて知ることができました。景観教室で学習したことは、ほとんど初めて聞いたり教えてもらったりしたことなので、とても勉強になりました。

最終的には、班でルールをつくって、そのルールに従った街づくりなどをして、とても楽しくできました。景観教室で習ったことを生活に少しでも役に立てたいと思います。

- ☺ 景観教室の学習で、たくさん話を聞いたのでルールなどが分かりました。彩度や明度などや建物の高さなど色々決まっていると分かりました。結構、ややこしかったです。実際に家をつくってみて大変だなあと思いました。

家を設計したり、建築したりするのは楽しそうだなあと思ったけど、色んなルールや決まりの下で様々な建物が出来ているんだなあと実感しました。私は緑豊かな所（自然）が好きなので緑を増やしたいです。

- ☺ 今回の景観教室では、世界各国や日本各地の美しい景観を知ることができ、建築をするにあたってのルールなど詳しく知ることができました。

また、実際に発砲スチロールを使って街なみ（家）を作成したり、マインドマップを作成したりするのが楽しかったです。

景観教室では初めて聞く言葉が多かったけど、どれも知っておくと得になりそうなものばかりで勉強になりました。

また、景観に関して景観教室で習ったことをふまえてじっくり考えてみたいと思いました。

- ☺ 私は、景観教室をやるまで「家はどんな色でもどんな形でも自分の好き勝手に作っていい」と思っていました。でも、そうでないと分かりました。あまり派手じゃない落ち着いた色じゃないとほぼ駄目で、住宅街に一軒だけ複雑な形の家があったら変なので、形もきまり事があるとはじめて知りました。

家をつくる授業も、すごく面白かったし楽しんで学べました。景観教室で学んだ事を生かして、大人になって家を買う時、景観について考えて選びたいです。

- ☺ 景観についていろいろな事が学べた授業だと思いました。

建物の色や高さが決まっているなど聞いてびっくりしました。そして考えてみれば、あまり明るい色の家はないなと思いました。

自分達で工作して家を作ったりしたのが特におもしろかったです。みんなの家を見たりして、かわいい家などもあって面白かったです。でもやっぱり作るのは難しかったです。

す。この授業でいろいろ学べたので良かったです。とても楽しかったです。

- ☺ わたしは、「景観」という言葉をはじめて聞きました。どういう事をするのか意味は何かと思ワクワクしていました。夏休みに自分たちで写真を撮ったりして、勉強なんですけどとても楽しかったです。

最初につくった町と2回目につくった町を比べると全然違って、どんどん景観の意味が分かったような気がします。

これからもいろんな町を見てみたいです。

- ☺ 景観教室の「景観」の意味が最初はよく分らなかったです。町の中で景観の決まりがとても大事なことが景観教室でよく分かりました。

建物の色を目立った色にすると町に合っていないくて、もし、そんな目立ったものがあつたら、色を薄くしたりとかしないといけないことも改めて分かりました。

景観教室では知らなかったことがいろいろと知れてよかったですし楽しかったです。

- ☺ 今回の景観教室ではいろんなことを知りました。町のきまりのところは興味深かったです。自分で家をつくる場所は、とても楽しかったしきまりに従って作ることができたので良かったと思います。

自動販売機が、その町に合わせたデザインにしていたことに感動しました。ほかに、色のルールなどがあって本当に楽しかったです。

- ☺ 景観教室では、家を建てるときのきまりや自然の風景にあわせて色を決めるなど、たくさんのことがあるんだなあと思った。最初は、そんなたくさんの規則があつて面倒だなあと思ったけど、学習していくうちに面白いなあと思うようになりました。

みんなで規則を作って建てた家は色あいとかもきれいに揃っていて、1回目と比べると現実的だなあと思った。写真を撮影したりすることで宮崎の景観で今まで気づけなかったものに気づいたのでよかったですと思いました。



清武中の成果パネルと加納中の成果模型を
清武総合支所1階玄関ロビーにおいて展示
(平成23年2月1日から2月28日まで)

景観教室を終えて 建築士会からの感想

今回の景観教室で活躍していただいた建築士会を代表して、清武中学校の景観教室チーフの越山さんから感想をいただきました。

今年度の景観教室を終えて

今年度は「清武中学校」と「加納中学校」の2校で授業を行いました。昨年度は1年間かけてじっくりと景観について学び・考える時間がありましたが、今年度は10回程程度の授業ということで、カリキュラムに非常に苦労しました。

清武中学校では、景観の基礎の授業を3回に絞り、生徒さんの皆さんに考えてもらう時間を多くとることにし、5班に分かれ調査・提案してもらうことにしました。学校は清武の中心部に位置しており、様々な特徴のあるまちなみが周辺にはあり、「学校周辺」「住宅地」「商業」「支所・文化」「自然・河川」のエリアを班毎にしっかり観察をし、生徒自身で意見を出し合い、班毎の意見をまとめてもらいました。どういうまちにしたいかという提案方法は3回の授業の中でパネルを制作しました。完成したパネルの見栄えはいろいろですが、どれも生徒の思いのこもった作品に仕上がっていました。

加納中学校は、今までに授業を行ってきた地域と違い、切り開かれた団地の一角に位置していることもあり、まち歩きを行わない方法で授業を行いました。授業内容は、まず自分の住みたい家の模型を自由に作ってもらい、それらの住宅が集まった町の模型を見て、感じてもらいました。その後ルールをつくり、コンセプトを決め、もう一度模型を作ってもらいました。出来上がった作品の差は歴然としており、生徒自身でも景観のルールの大切さを実感できたと思います。

今年度の2校の生徒はとてもハキハキしており、自分の意見をしっかり言ってくれる生徒達が多かったので、授業も非常に進めやすかったです。

まちの景観は、行政・建築事業者だけでは作っていくことは出来ず、その場所に住み・生活している人たちの意識が最も重要だと思います。その人たちがどのようなまちにしていきたいか真剣に考えているところが、美しい・住み良いまちになっていくと思います。この景観教室では、一部の子供たちにしか教えていくことは出来ませんが、その子供たちが自分たちのまちを考えることにより、どんどん多くの人にその考えが広がっていき、今回授業を行った地域がより良い景観のまちになっていけば良いな、と考えています。

あしがき

本市では景観への関心や意識を高めて景観の知識や郷土の愛着を深めてもらうことを目的に平成14年度から景観教室を実施してきました。この間、本年度を含めて11校・延べ267名の中学生が景観教室について学習してきました。本年度は平成22年3月に宮崎市と合併した清武町の清武中学校と加納中学校で景観教室を実施しました。

「景観とは何か」と問われると大人でも即答はむずかしいのではないかと思います。両校の中学生も聞きなれない「景観」という言葉に戸惑いながら授業がスタートしました。

平成21年度から授業は宮崎市が「景観整備機構」として指定した(社)宮崎県建築士会宮崎支部の景観まちづくりメンバー「K O A L A」(コアラ)の皆さんにより進められました。建築士としての豊富な経験と知識によりユニークな内容が盛り込まれたカリキュラムを実施していただき、最後の授業では自分たちのまちの将来像をイメージしたパネルや模型をみんなで作るなどして楽しく終了することができました。

景観教室終了後に書いてもらった感想文では、授業の楽しさ、景観について学べたことへの満足感、自分の中での景観に対する意識の変化等の意見が出され、授業を通して生徒の皆さんも郷土愛が深まり、景観への関心や意識の向上を図ることができたのではないかとうれしく思っております。

「景観教室」の授業としては終了しましたが、今後、学習したことを頭の片隅に留めてもらって、清武をはじめとした宮崎の景観づくりに生かしてもらうことを期待しています。

最後に「景観教室」の実施にあたり、ご指導、ご協力いただいた宮崎市立清武中学校、宮崎市立加納中学校の先生方や(社)宮崎県建築士会宮崎支部の皆さん、そして最後まで一生懸命、楽しく熱心に授業に取り組んでいただいた生徒の皆さんに対し、厚くお礼申し上げます。

表紙イラスト

題 「息軒先生の散歩道」
作 宮崎市景観課 藤本亮

安井息軒も歩いたこの美しい石垣の道を、当時（江戸時代末期）をイメージして描きました。



平成 22 年度 中学生のための景観教室 実施報告書

平成 23 年 3 月発行 宮崎市都市整備部景観課

〒880-8505 宮崎市橘通西一丁目1番1号

TEL 0985-21-1817 FAX 0985-21-1816

URL <http://www.city.miyazaki.miyazaki.jp> で宮崎市

のホームページに入り「景観まちづくり」をクリック